

---

## OCLCへの公開

OCLCへの公開を設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録管理者
- リポジトリ管理者
- 統括システム管理者

これまでOCLC WorldCatを使用してレコードを同期していて、その環境からAlma Productionに移行しようとしている場合は、[OCLC WorldCatと同期していた以前のシステムからAlma Productionに移行する](#)にある重要な手順を参照してください。

---

## OCLCへの公開の概要

OCLCは、AlmaユーザーがWorldCatでの所蔵を更新するために使用できる2つの異なるタイプのWorldShareデータ同期オプションを提供します。

- 一般的な公開方法は、書誌レベルに基づいており、目録の存在を示しています。これは、事前定義された公開プロファイルである書誌レコード (DataSync) をOCLCに公開するを使用して行うことができます。
- また、電話番号、所有場所、配架場所などの所蔵レベル情報を公開することもできます。この公開のオプションは、物的ジャーナルや、レンジまたはカパレッジが重要なその他のマルチボリュームの作品（たとえば、ILL目的のためのも）に必要となります。これは、事前定義された公開プロファイルであるローカル所蔵レコード (LHR) をOCLCに公開するを使用して行うことができます。

---

### Note

「ローカル所蔵レコード (LHR) をOCLC公開プロファイルに公開する」を使用して、OCLCへ公開する際に、抑制された所蔵資料を除外することはできません。

---

OCLCへの公開は、事前定義されたFTPロケーションにレコードをエクスポートします。OCLCはそのFTPロケーションからレコードを取得し、WorldCatレコードと同期します。ネットワークゾーンを実装する共同ネットワーク内でのOCLCへの公開については、[ネットワークゾーンでのレコードの管理](#)にあるメモを参照してください。また、機関が名前を変更した場合などのタイトルの再公開については、[書誌OCLCのタイトルセット再公開](#)ジョブを参照してください。

---

### Note

- 関連する所蔵レコードが削除された書誌レコードは、削除済みレコードとして公開されます。
- 所蔵レベルで公開する場合、削除された所蔵を含め、書誌レコードにリンクされているすべての所蔵が公開されます。

---

OCLCからレコードをインポートする場合、[OCLC Connexionからのレコードのインポート](#)を参照してください。

使用ケース例については、[OCLCへの公開](#)を参照してください。

## レコードはいつエクスポートされますか？

レコードは、次の場合にエクスポートされます。

- 最後のエクスポートジョブの実行後にレコードが**変更**または**追加**されました。

**変更**には、書誌レコードへのすべての修正と、ご利用の公開プロファイル（例えば、書誌レコード（DataSyncをOCLCに公開する公開プロファイルやローカル所蔵レコード（LHRs）をOCLCに公開する公開プロファイル）の設定にしたがってそれを充実化するすべての情報（たとえば**所蔵**や**アイテム変更**など）が含まれます。（詳しくは[印刷物所蔵をOCLCに公開する](#)を参照のこと。）

管理タグのみを**変更**しても、アセットの公開による再公開は行われません（「[現在の管理タグに関係なく、AlmaからOCLC / WorldCatにレコードセットを公開する方法（強制公開）](#)」を参照）。管理タグの**変更**後、「書誌OCLCタイトルセットの再公開」ジョブを使用する必要があります。

書誌レコードの公開（DataSync）をOCLCアセットの公開に使用する場合、書誌レコードへの**変更**はOCLCにアップデートされることに**注意**してください。

詳細については、「[OCLC公開ジョブレポートのカテゴリは何を意味しますか？](#)」を参照してください

### Note

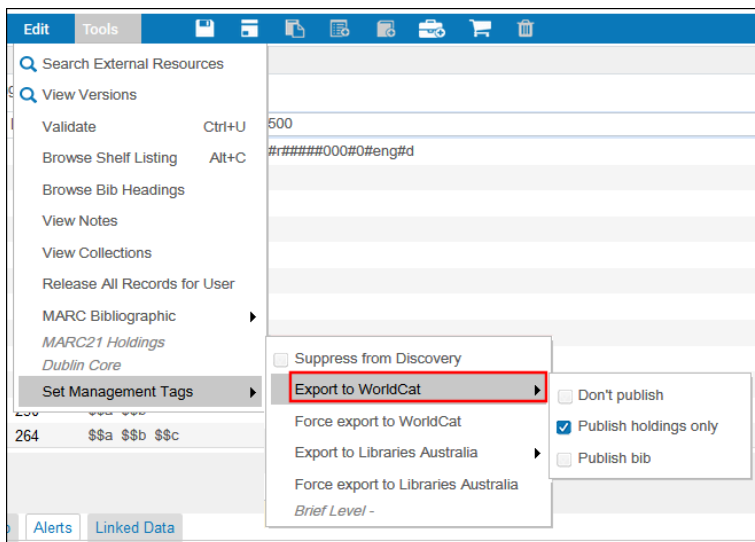
また、**所蔵**レコードがアップデートされると、削除された**所蔵**を含む、書誌レコードにリンクされているすべての**所蔵**レコードと一緒に再公開されます。

- スタッフユーザーはエクスポートするレコードを手動で選択しました（これは強制エクスポートとも呼ばれます）。

これはメタデータエディタの**WorldCat**への強制エクスポート（[レコードアクション]>[管理タグの設定]>[WorldCatへの強制エクスポート]）で実行できます。

## どのレコードがエクスポートされるのですか？

レコードは、メタデータエディタ内で書誌を公開/**所蔵**のみを公開に設定されます。（[記録アクション](#)>管理タグの設定>**WorldCatに強制エクスポート**）



メタデータ エディタでの**WorldCat**オプションへのエクスポート

詳しくは、メタデータエディターのメニューとツールバーのオプションの**WorldCat**へのエクスポート [を参照してください](#)。

OCLC公開ジョブとAlmaセット管理タグの概要については、以下の表を参照してください。

## Note

セット管理タグは、一般プロフィールを介してスケジュールされたジョブを使用する場合にも、各レコードの公開ポリシーを制御します。

OCLC公開ジョブとAlmaセット管理タグの概要

ジョブ名	管理タグの設定 (メタデータエディターの書誌レコードに設定)	OCLCと同期されたレコード
書誌OCLC タイトルセットの再公開	公開しない	なし
	所蔵のみを公開する	なし
	書誌を公開する	書誌事項レコード
所蔵レコードをOCLC (LHR) へ再公開する (主に逐次刊行物に使用)	公開しない	なし
	所蔵のみを公開する	ホールディングレコード
	書誌を公開する	なし

以下のシナリオでは、外部カタログ (OCLC) 管理タグへの公開の[書誌レコードの公開]値がデフォルト値です。

- メタデータ エディター (新しい書誌レコードとコピー目録化)
- クイック目録 (新しいアイテム、新しいポートフォリオ、フルフィルメントの引用)
- コミュニティゾーンから書誌レコードを注文する
- シンプルなビュー-カタログ/リンクにコピーします。コミュニティゾーン (またはネットワークのメンバーの場合はネットワークゾーン) で書誌レコードを表示する場合、目録作成者はいくつかのアクションを使用して次のことを行うことができます。自身のカタログにリンクさせる または独自のローカルコピーを作成する。

## Note

ローカル所蔵レコード (LHR) をOCLC公開プロフィールに公開を使用すると、035フィールドにシステム制御番号が含まれる書誌レコードに関連する所蔵レコードのみがOCLCに公開されます。

---

## Note

公開用にマークされているレコードを検索するには、[詳細検索](#)にある索引タグ外部目録を使用できます（詳細については[詳細検索の使用](#)を参照）。



The screenshot shows a search interface with a 'Zone' dropdown set to 'Institution'. Below it are three filter dropdowns: 'Tag Sync External Catalog', 'Equals', and 'Publish Bibliographic records'. There are also 'Clear form' and 'Search' buttons.

外部目録とのタグ同期

---

## エクスポートされたレコードの内容はどのようなものですか？

次のコンテンツが、OCLCに公開する際にエクスポートされます。

- 書誌レコード (**DataSync**) を**OCLC**に公開する公開プロフィール

このプロフィールでは、[所蔵情報](#)を含む書誌レコードデータ（プロフィールがそれを含むように設定されている場合）が公開されます。書誌レコードにシステム制御番号が含まれていない場合、OCLCは、システム制御番号が図書館のMMS IDにマッピングされたファイルを送信します。このファイルのロードの詳細については、「[Excel ファイルから既存の Alma レコードにシステム制御番号を作成/インポートする方法](#)」を参照してください。

さらに、このプロフィールにより、削除されたレコードをその所蔵なしで含めることができます。詳細については、[削除されたレコードの公開](#)を参照してください。

- ローカル所蔵レコード (**LHR**) を**OCLC** 公開プロフィールに公開する

このプロフィールを使用すると、関連する書誌レコードから取得したシステム制御番号を含むフィールド004とともに、[所蔵レコード](#)のデータが公開されます。

---

## ファイル名の構造

ファイル名は、[OCLCの要件](#)に従ってハードコードされます。

---

## OCLCへの公開の動作 コミュニティーゾーン レコードを発注するときに管理タグを設定する

ネットワークゾーンから書誌レコードを公開する：

- 発注明細がAPI（またはインポートEOD以外の外部システム）から作成される場合：
  - タイプNEW\_ORDER\_APIの統合プロフィールが存在する場合、管理タグはこの統合プロフィールから取得されます。
  - 統合プロフィールが見つからない場合、デフォルトは使用済です。これは実行時に作成されるデフォルトのプレースホルダインポートプロフィールであり構成を変更できません。

- 発注明細を手動で作成する場合：
  - 値は書誌レコードの操作レコードから取得されます。

---

## 埋め込み所蔵情報

書誌レコード (**DataSync**) を **OCLC** に公開するを使用する場合、公開されたレコード内に埋め込まれた**所蔵情報**を公開することができます。これを行うには、以下の設定を行う必要があります。

- [設定メニュー] > [リソース] > [レコードのエクスポート] > [所蔵フィールドを書誌レコード**OCLC**にマッピングする]
- [設定メニュー] > [リソース] > [レコードのエクスポート] > [機関**OCLC**シンボル]

詳細については、[OCLCでの最初の公開アクティビティ](#)を参照してください。

---

## 削除されたレコードの公開

次のいずれかのケースで、レコードが削除されて公開されます (LDR/05 = 'd') 。

所蔵レベル (LHR) を公開する場合、所蔵レコードは変更された場合にのみ再公開されることに注意してください。また、所蔵レコードがアップデートされると、削除された所蔵を含む、書誌レコードにリンクされているすべての所蔵レコードと一緒に再公開されることにも注意してください。

- 書誌レコード (**DataSync**) を **OCLC** に公開する公開プロファイル
  - 書誌レコードがAlmaで削除されている
  - 書誌レコードのすべての所蔵が削除されている (書誌レコード自体がまだ存在している場合であっても)
  - 書誌レコードが少なくとも一度公開された後に公開しないとマークされている

---

### Note

書誌レコードを**OCLC**に公開するジョブは、削除された書誌レコードの852フィールドの**所蔵**の公開をサポートしていません。

- 
- このプロファイルにより、削除されたレコードをその**所蔵**なしで含めることができます。機関はこのプロファイルをカスタマイズして、公開されたファイルに書誌レコードの削除された**所蔵**をすべて含めることができます。これにより、**OCLC** は **OCLC** シンボルを照合し、削除を処理しやすくなります。この機能を有効にするには、機関は、顧客パラメータ: `oclc_add_hol_to_deleted_bib` を **true** に設定することができます。設定メニュー > リソース > 全般 > その他の設定を通して顧客パラメータにアクセスします。
    - このパラメータを **true** に設定すると、公開された削除済み書誌レコードには、削除された時期に関係なく、削除された**所蔵**がすべて含まれます。これにより、すべての書誌レコードの**所蔵**がシステムから確実に削除されるようになります (この機能は**OCLC**で確認済みです)。含まれる**所蔵**データは、「**所蔵**フィールドを書誌レコードにマッピングする」テーブルで指定されたマッピングに従います。
  - ローカル**所蔵**レコード (**LHR**) を **OCLC** 公開プロファイルに公開する
    - **所蔵**レコードがAlmaで削除されています。
    - **所蔵**レコードに関連する書誌レコードが少なくとも一度公開された後に公開しないとマークされています。

- 。所蔵レコードはLHRジョブを通じて少なくとも1回公開されています。その後、所蔵記録に係る書誌レコードは、書誌を公開するとしてマークされています。書誌を発行する、OCLC公開ジョブとAlmaセット管理タグの概要表を参照してください。[090OCLCへの公開#SummaryOCLC](#)

---

## Note

所蔵レベルで公開する場合、削除された所蔵を含め、書誌レコードにリンクされているすべての所蔵が公開されます。

---

## OCLCへの関連レコードの公開

AlmaのOCLCへの公開プロセスは、書誌レコード (**DataSync**)をOCLCに公開する公開プロファイルとあなたのローカル所蔵レコード (**LHRs**)をOCLCに公開する公開プロファイルが実行されているとき、関連レコードの処理をサポートします。提携関係の一部である書誌レコードの所蔵情報は、所蔵図書館の目録の正確な情報を提供するために適切に公開されます。

関連レコードに関する詳細情報については、[冊子目録のための関連レコードの設定](#)を参照してください。

関連レコードを目録化（作成または削除）する場合、関連レコード情報をOCLCに公開する前に、MMS - レコード関係の構築ジョブを最初に実行する必要があります。MMS - レコード関係構築ジョブは、1日に1回実行されるようにスケジュールされています。詳細については、[スケジュールされたすべてのジョブ](#)の表示を参照してください。

---

## OCLCとの最初の公開活動

OCLCで進行中の自動同期プロセスを実行する前に、あなたの所属機関のシンボルと図書館コードに関してOCLCと通信し、構成要件を調整する必要があります。以下の手順を参照してください。

詳細については、[リソース管理 - 別の図書館のコードとシンボルを使用してOCLCに公開OCLC](#)を参照してください。

---

## Note

個別のライブラリコードとシンボル用に構成されている場合、OCLCプロファイルに公開すると、所蔵が追加され、目録がまだ存在する場合は所蔵が削除されますが、削除された所蔵情報はAlmaの削除されたレコードに追加されません。

個別の図書館コードとシンボル用に構成された機関の場合、852 \$aフィールドは必須です。このフィールドはAlmaによって削除されたレコードに追加されないため、複数の図書館シンボルを使用しているお客様は、OCLC Connexionクライアントを使用して削除された所蔵レコードを削除する必要があります。

---

最初の公開アクティビティを完了するには：

1. OCLCに連絡して、機関コードシンボルを取得します。特定の図書館または特定の場所の組み合わせに、機関レベルのシンボルを上書きする独自の個別コードシンボルを設定したい場合、これをOCLCと調整し、図書館コードまたは場所コードを、[機関OCLCシンボルマッピングテーブル]で割り当てられたシンボルにマッピングする必要があります（[設定メニュー] > [リソース] > [レコードのエクスポート] > [機関OCLCシンボル]）。

Enabled	Library Code	Symbol	Location Code	Updated By	Last Updated	
<input checked="" type="checkbox"/>	Grad	Grad_North	North	admin	01/08/2019	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Music	Music		admin	01/08/2019	...

機関OCLCシンボルマッピングテーブル

- OCLC Worldshareで、書誌レコードのData Syncコレクションを作成します。LHR（ローカル所蔵レコード）も使用している場合は、同様にLHR用に作成します。

FTP接続では次の点に注意してください:

- データ同期コレクション（複数）にはコレクションIDがあり、後で「書誌レコード（DataSync）をOCLCに公開する」および「ローカル所蔵レコード（LHR）をOCLCに公開する」で使用されます。
- OCLCでData Syncコレクションを設定する場合、機関はOCLCのData Syncコレクションスペシャリストに相談することをお勧めします。
- これは、修飾子のないocn（システム制御番号）または修飾子のあるocnのいずれかによって書誌レコードを照合するために役立ちます。
- Data Syncコレクションの詳細については、[Data Syncコレクション](#)を参照してください。

- AlmaおよびOCLCで使用されるS/FTP接続を設定します。[S/FTP接続の設定](#)を参照してください。

- 「フルパスである」を確認する必要があります、
- サブディレクトリはスラッシュで始まる必要があります、
- ユーザー名はfx\_で始まる必要があります、
- FTP接続をテストすると、「FTP削除に失敗しました」というメッセージが表示されることに注意してください。ファイルはほぼ即座にキューに移動され、削除できなくなるため、これは問題ありません。同じ理由で「FTPダウンロードに失敗しました」というメッセージも表示されます。
- サーバーには、OCLC Exchange Server ([SFTPでファイルを更新する](#)を参照)を使用します。

例:

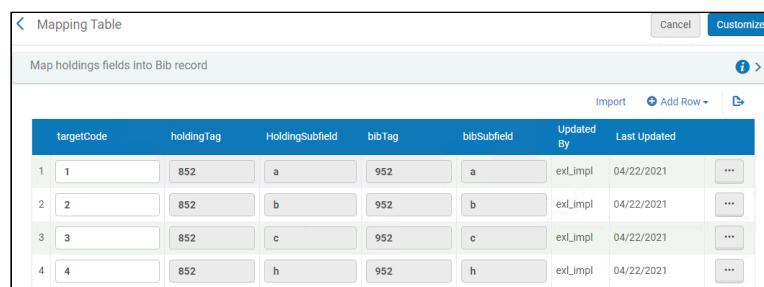
OCLC FTPサーバーの詳細については、[OCLCでファイルを交換する](#)を参照してください。

- 書誌レコード（DataSync）をOCLCに公開する公開プロファイルを使用する場合、公開されたレコード内に埋め込まれた所蔵情報を公開することができます。これを行うためには、書誌レコード OCLC マッピングテーブルに所蔵をマッピングするフィールドを設定する必要があります（[設定メニュー] > [リソース] > [レコードのエクスポート] > [所蔵フィールドを書誌レコードOCLCにマッピングする]）。

targetCode フィールドとして任意の数値を入力できます。このフィールドは、各フィールドの一貫性を維持するために内部で使用するためのものであり、非公開となっています。所蔵タグは、単一の書誌タグにマッピングできます。複数の所蔵フィールドがマッピングされている可能性があります、それぞれを1つの書誌タグのみにマッピングする必要があります。

## Note

このテーブルではデータフィールドのみを使用でき、固定フィールドは使用できません。



	targetCode	holdingTag	HoldingSubfield	bibTag	bibSubfield	Updated By	Last Updated	
1	1	852	a	952	a	ex_impl	04/22/2021	...
2	2	852	b	952	b	ex_impl	04/22/2021	...
3	3	852	c	952	c	ex_impl	04/22/2021	...
4	4	852	h	952	h	ex_impl	04/22/2021	...

所蔵フィールドをOCLCの書誌レコードにマッピングする

この情報は、同期プロジェクトが開かれたときにOCLCに提供され、OCLCがあとで解釈可能なように、書誌レコードを所蔵情報で強化するためにAlmaによって使用されます。

OCLCに公開すると、852 \$bがマッピングテーブルのキーの1つに一致する場合、852 \$aは機関シンボル（公開プロファイルの[OCLC機関シンボル](#)パラメータで指定されている）または図書館シンボルもしくは場所シンボルに設定されるか、置き換えられます（〔設定メニュー〕 > 〔リソース〕 > 〔レコードのエクスポート〕 > 〔機関OCLCシンボル〕）。

）。ステップ1を参照してください。

- Almaで提供されている次のタイプの印刷公開プロファイルのいずれかをカスタマイズするか、要件を満たすために電子公開プロファイルを作成します：詳細については、[「印刷所蔵をOCLCに公開する」](#)および[「電子所蔵をOCLCに公開する」](#)の手順を参照してください。
  - OCLCへの書誌レコード（DataSync）の公開 – このプロファイルを使用して、埋め込み所蔵情報を含む書誌レコードと、機関または図書館で利用可能なOCLC WorldCat目録情報とを同期します。
  - ローカル所蔵レコード（LHR）をOCLCに公開 – このプロファイルを使用して、所蔵情報を、機関または図書館で利用可能なOCLC WorldCat目録の所蔵情報とのみ同期します。

## 印刷物所蔵をOCLCに公開する

図書館の印刷物所蔵のAlmaからWorldCatへの同期は、Almaによって提供される書誌レコード（DataSync）をOCLCに公開するまたはローカル所蔵レコード（LHR）をOCLCに公開する公開プロファイルを用いて行います。これらのプロファイルのいずれかを必要に応じて調整するには、次の手順を参照してください。[OCLCへの公開 - 書誌レコード](#)のスケジュール済みジョブが作成されます。

OCLC印刷公開プロファイルを設定するには：

- [公開プロファイルの詳細]ページを開きます（〔リソース〕 > 〔公開〕 > 〔公開プロファイル〕）。
- 公開プロファイルページで、以下のいずれかを編集します。書誌レコード（DataSync）をOCLCに公開するまたはローカル所蔵レコード（LHR）をOCLCに公開する（[OCLCでの初期の公開活動](#)を参照。）[公開プロファイル詳細]ページが開きます。

公開プロファイルの詳細ページ

3. 次の表を使用して、[公開プロファイルの詳細]ページのパラメータを完了します。

プロファイル詳細ページのパラメータの公開 (OCLC)

パラメータ	説明
[プロファイルの詳細]セクション：	
プロファイル名	プロファイルの名前。
プロファイル説明	プロファイルの説明（任意）。
OCLC機関のシンボル	すでにOCLCと合意済みの機関コードシンボル。詳細は、上記 <a href="#">OCLCでの初期の公開活動</a> セクションでの説明にある、機関OCLCシンボルマッピングテーブルの設定を参照してください。OCLC機関のシンボルパラメータで指定された値は、機関OCLCシンボル設定で指定された図書館レベル、または図書館と場所レベルOCLCシンボルコードで上書きできます（設定メニュー>リソース>レコードのエクスポート>機関OCLCシンボル）。 これは必須フィールドです。
プロジェクトID	すでにOCLCと合意済みの同期プロジェクトID（上記の設定プロセスの概要を参照）。 プロジェクトIDまたはコレクションIDは、必要なOCLC機関シンボルとともに入力する必要があります。古いOCLCフォーマットで作業している場合は、プロジェクトIDを入力します。新しいOCLCフォーマットで作業している場合は、コレクションIDを入力します。
コレクションID	すでにOCLCと合意済みのコレクションID（上記の設定プロセスの概要を参照）。このフィールドに値が入力されている場合、公開されたファイル名には機関のシンボルとコレクションIDが含まれます。このフィールドが入力されていない場合、公開されたファイル名にはコレクションIDが含まれません。OCLCがこれをいつ要求するかについては、OCLCにお問い合わせください。 プロジェクトIDまたはコレクションIDは、必要なOCLC機関シンボルとともに入力する必要があります。古いOCLCフォーマットで作業している場合は、プロジェクトIDを入力します。

パラメータ	説明
	ットで作業している場合は、プロジェクトIDを入力します。新しいOCLCフォーマットで作業している場合は、コレクションIDを入力します。
公開パラメータ セクション：	
公開モード：逐次更新型	Almaで進行中のOCLCレコードの変更（前回の更新以降の変更）をOCLC公開に使用されるFTPサーバーに定期的に公開し、最終的にOCLCで処理できるようOCLCに公開するかどうか。公開ジョブのスケジュールは、OCLC公開プロファイルで選択したスケジュールオプションによって決まります。この公開モードは、定期的に行うことを目的としています。
公開モード：ベースライン	<p>これは1回限り使用するオプションです。あなたの機関が、これまでOCLCと連携しつつOCLCレコードを管理していた別のILS（統合図書館システム）からAlmaに移行しようとしていて、かつOCLCとのやりとりを（以前のILSで使用していたOCLCアカウントを維持しつつ）、そのILSの最後の更新から引き継ぐ形でAlmaシステム上に移行することが目的である場合にこのオプションを選択します。</p> <p>このオプションは、データベースがAlmaに移行された直後、AlmaでOCLCレコードが変更される前に、一度だけ使用することを目的としています。このオプションは、OCLCレコードのセット全体（つまり、<a href="#">レコードがエクスポートされるとき</a>での指示にしたがいOCLC公開用にマークされている全てのレコード）をAlma公開索引（OCLCへのベースライン公開にのみ用いられる、Alma内でのセット表示）に公開します。ただし、OCLC公開に用いられるFTPサーバーにはファイルを作成しません。公開ジョブが完了すると、OCLCとの継続的な逐次更新のために、Almaは自動的にOCLC公開プロファイルの公開モードを逐次更新型に設定します。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>ベースライン公開ジョブのスケジュールリングと実行は、Almaへの切り替えが終わり次第、すぐにプロセスに組み込む必要があります。</p> <hr/>
公開モード：完全型	Almaは、OCLCレコードのすべて（つまり、 <a href="#">レコードがエクスポートされるとき</a> での指示にしたがいOCLC公開用にマークされている全てのレコード）を、OCLC公開に使用されるFTPサーバーに公開します。このオプションは、レコード処理のためのOCLCアカウントを初めて新規作成する機関（例えば、Almaの前に使用していたシステムではOCLCと提携していなかった図書館など）や、または以前にOCLCと提携はしていたが、すべてのレコードをAlmaからOCLCに再公開するため、OCLCとのこれまでのプロジェクトの完全再構築をしようとするウェブサイトのために用意されています。公開ジョブが完了すると、OCLCとの継続的な逐次更新のために、Almaは自動的にOCLC公開プロファイルの公開モードを逐次更新型に設定します。
ステータス	[アクティブ]を選択します。
スケジュール	スケジュールオプションのいずれかを選択します。スケジュールしないを選択した場合は、この公開プロファイルのエクスポートジョブは実行されません。
Eメール通知	出力プロファイルが完了したときにEメール通知を受入するユーザーの名前とメールアドレスを指定します。

パラ メー タ	説明
提出フォーマットセクション：	
FTP 設定	S/FTP接続の名前を選択します。FTP要件の詳細については、 <a href="#">OCLC説明書</a> を参照してください。
サブ ディ レク トリ	S/FTP接続の作成時に指定されたパスのオプションのサブディレクトリ。たとえば、S/FTP接続の設定中に[サブディレクトリ]フィールドでAlmaを指定し、このフィールドにOCLCと入力すると、データはAlma/OCLCにエクスポートされます。

## Note

ファイルはOCLCの DataSyncサーバーにアップロードされた直後に、処理のためにキューに移動されます。

4. **[保存]**を選択します。変更された公開プロファイルが保存されます。定義された基準を満たすデータは、プロファイルの実行時に指定されたFTPロケーションにエクスポートされます。

公開エクスポート・ジョブの監視の詳細については、[ジョブの実行表示](#)を参照してください。ジョブレポートの詳細については、[完了ジョブの表示](#)を参照してください。

書誌レコードをOCLCに公開する場合、公開できるファイルごとのレコードの最大数は90Kです。これは、[OCLC説明書](#)に記載されているOCLC標準に準拠しています。エクスポートするレコードが200,000を超える場合、各ファイルに最大200,000レコードの複数のデータファイルが作成されます。

## OCLCへ電子所蔵を公開する

Almaの公開プラットフォームを使用して、AlmaからWorldCatへの図書館の電子所蔵の同期を実現できます。

## Note

これらのレコードは電子レコードの数です。公表はされませんが、カウントされます。

これらのレコードは「更新済み」としてジョブにカウントされます（つまり、レコードの日付が最後に公開された時点よりも後であるためです）。ただし、公開されるレコードの内容自体は最後に公開された時とまったく同じであるため、出力には含まれません。

公開プラットフォームを（以下の手順に従って）セットアップすると、Almaは定期的に電子所蔵をWorldCatに発行し、電子所蔵に対するすべての変更がWorldCatと同期されます。一般的な公開プロファイルは、スケジュールされたジョブの対象になります。

電子所蔵をOCLCに公開するには：

1. WorldCatと同期する電子所蔵のセットを作成します。手順については、[ロジカルセットを追加する](#)を参照してください。

2. 一般的な公開プロフィールを作成します。[公開と目録の充実化](#)を参照し、次の表の詳細を使用してプロフィール設定をカスタマイズしてください。

OCLC 電子所蔵のプロファイル詳細

パラメータ	説明
プロフィール名	一意のプロファイル名。
プロフィール説明	説明を使用して、OCLC電子所蔵の発行プロフィールをさらに特定します。
公開パラメータ セクション：	
ステータス	[アクティブ]を選択します。
スケジューリング	スケジュールを選択します。
Eメール通知	出力プロフィールが完了したときにEメール通知を受入するユーザーの名前とメールアドレスを指定します。
コンテンツセクション：	
セット名	ステップ1で電子公開用に作成したセットを選択します。
公開日	書誌レベルを選択します。
出力フォーマット	<b>MARC 21</b> 書誌を選択します。
公開プロトコルセクション：	
FTP、OAI、またはZ39.50	FTPIチェックボックスを選択します。
FTP設定	OCLCのために作成したFTP設定を選択し（ <a href="#">S/FTP接続の設定</a> を参照してください）。FTP設定には、次の設定パラメータが含まれている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>FTPサーバー = ftp2.oclc.org</li> <li>UserName = OCLCによって割り当てられたもの</li> <li>パスワード = OCLCによって割り当てられたもの</li> <li>サブディレクトリ = wckb/in/data</li> </ul>
冊子フォーマット	<b>XML</b> を選択します。
ファイル内のレコード数	1つのファイルを選択します。（OCLCに公開されるすべてのレコードは1ファイルである必要があります。）
デフォルトのファイル名を使用	いいえを選択します。

パラメータ	説明
ファイル名	<b>HOLDINGS_ &lt;REGISTRY_ID&gt; .xml-marc</b> を指定します。 <b>&lt;registry_id&gt;</b> には、あなたの図書館のWorldCatレジストリID(または名はOCLC機関ID)が入ります。WorldCatレジストリIDに関する質問がある場合は、OCLCカスタマーサポート ( <a href="mailto:support@oclc.org">support@oclc.org</a> ) にお問い合わせください。

3. 次を選択して、次の表に示す詳細を使用し、残りのプロファイル設定を完了します。

OCLC 電子所蔵のデータ強化

パラメータ	説明
電子目録の強化セクション：	
電子ポートフォリオ情報を追加	これを選択してください。
繰り返し可能なフィールド	866
アクセスURLサブフィールド	u
リンクリゾルバベースURL	<p>リンクリゾルバベースURLを入力します。</p> <p>以下のフォーマットを使用して、Alma リンクリゾルバにリダイレクトするPrimoサービスページのベースURLを入力し、示されている場所に機関の情報を挿入します。</p> <p><code>http://&lt;primo server host:port&gt;/openurl/&lt;primo institution_code&gt;/&lt;primo view_code&gt;?</code></p>
コレクション名サブフィールド	x
対象範囲ステートメントサブフィールド	a
CZ蔵書識別子サブフィールド	t

#### OCLC電子公開プロフィール-データ強化

4. [保存]を選択します。

## OCLCへの関連レコードの公開

BIBFRAMEレコードは、既存のプロファイルの一部としてOCLCに公開できます。bf:instanceにrdf:resource =を持つbf:assignerを持つ識別子が含まれている場合<http://id.loc.gov/vocabulary/organizations/ocolc>、BIBFRAMEレコードは 変更履歴と管理タグに基づいて、既存のジョブの一部としてMARCレコードとしてOCLCに公開されます。

さらなる展開があれば、このセクションは更新されます。

## OCLC WorldCatと同期するために使用された以前のシステムからAlma Productionへの移行

以前のシステムからAlma Productionに切り替える際、（データベース全体をリロードするかわりに）OCLC WorldCatへの増分更新の処理を継続することができます。それには以下の手順が必要です：

- ワンタイムベースラインオプションを使用してOCLC公開プロファイルを作成する
- ワンタイムベースラインオプションを設定してOCLC公開プロファイルを実行し、AlmaがOCLCの増分更新を続行できるデータベースに開始点を作成します。

AlmaがOCLC WorldCatの増分更新を続行できる開始点を確立するための1回限りのベースラインオプションを使用してOCLC公開プロファイルを設定する方法については、次の手順を参照してください。

特別な1回限りの公開プロファイル/ジョブは、Alma productionの最初の日またはそれに非常に近い日、かつ目録レコードに変更を加える前に実行する必要があります。

OCLCプレフィクス035フィールドを持つ書誌レコードには、書誌OCLC発行の移行中に自動的にフラグが立てられま

す。レコードに異なるフラグを付ける必要がある場合：

- Almaのリポジトリ検索を使用して、その時点で関連するOCLCレコードを反映するセットを作成します。
- 書誌レコードを外部目録と同期するジョブは、OCLCに公開するレコードセットにマークまたはフラグをつけるため、書誌レコードを公開または所蔵のみを公開に設定されたTaskParameters: MmsTagSyncExternalセクションの外部目録と同期するパラメータとともに実行します。このステップは、一連のレコードのマークを解除して、公開されないようにするためにも使用できます。

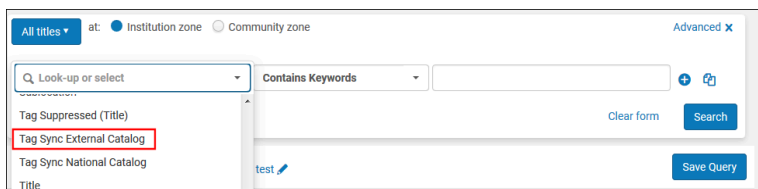
### Note

公開しないが選択されていると、削除済みとして公開されます (LDR 位置5にdが追加されます)。

詳細については[定義済みセットでの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

個々のレコード（一連のレコードのセットではなく）をマークするには、メタデータエディタと書誌の公開／所蔵のみの公開ツールオプション（[レコードアクション]>[管理タグの設定]>[WorldCatにエクスポート]）を使用します。詳細については、[メタデータエディタの「ツール」メニューの、WorldCatにエクスポート](#)を参照してください。

- OCLCレコードにフラグが設定されたら、OCLC処理のためにマークされているレコードを確認するため、タグ同期外部目録を使用してリポジトリを検索します。



タグ同期外部カタログの詳細検索パラメータ

これらのワークフローの考慮事項に対処した後、OCLCベースライン公開プロファイルを設定し、このプロファイルを使用して公開ジョブを実行する準備が整います。

Almaプロダクションへの移行用にOCLC公開プロファイルを構成して実行するには：

- 以下の表で説明する[公開プロファイル詳細]ページの設定を使用する場合を除き、一回限り使用のOCLC公開プロファイルを作成するには、[OCLCに印刷所蔵を公開](#)を参照してください。

プロファイル詳細ページのパラメータの公開（移行プロファイル用）

パラメータ	説明
[プロファイルの詳細]セクション：	
プロファイル名	一意のプロファイル名。
プロファ	説明を変更して、このプロファイルをさらに識別します。

パラ メー タ	説明
イ ル 説 明	
OCLC 機 関 シ ン ボ ル	OCLCとすでに合意済みの機関/図書館コードシンボル（上記の設定プロセスの概要のステップ1を参照）。
プ ロ ジ ェ ク ト I D	同期プロジェクトIDは以前にOCLCと合意しました（上記の構成プロセスの概要のステップ2を参照）。
公開パラメータセクション：	
ス テ ー タ ス	[アクティブ]を選択します。
ス ケ ジ ュ ー リ ン グ	<p>スケジュール未定を選択します。このジョブを手動で実行するには、Ex Librisに連絡する必要があることに注意してください。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>移行（ベースライン）公開ジョブ完了した後、継続的な増分公開を有効化するスケジュールオプションを変更します。</p> <hr/>
公 開 モ ー ド ： ベ ー ス ラ イ ン	<p>これは1回限りのオプションです。これまでOCLCと連携しつつOCLCレコードを管理していた別のILS（統合図書館システム）からの移行を行うためにこのオプションを選択します。OCLCとのやりとりを（以前のILSで使用していたOCLCアカウントを維持しつつ）、そのILSの最後の更新から引き継ぐ形でAlmaシステム上に移行するのが目的です。</p> <p>このオプションは、データベースがAlmaに移行された直後、AlmaでOCLCレコードが変更される前に、一度だけ使用することを目的としています。このオプションは、OCLCレコードのセット全体をAlma公開索引（ベースラインでのOCLCへの公開に特定されたセットのAlmaシステム内での表示）に公開しますが、OCLC公開に使用するFTPサーバー上のファイルは作成されません。公開ジョブが完了すると、OCLCとの継続的な逐次更新のために、Almaは自動的にOCLC公開プロファイルの公開モードを逐次更新型に設定します。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>ベースライン公開ジョブのスケジュールリングと実行は、Almaへの切り替えが終わり次第、すぐにプロセスに組み込む必要があります。</p> <hr/>
提出フォーマットセクション：	
F T P 設 定	OCLCと確立/調整したS/FTP接続の名前を選択します。このFTPから、OCLCはWorldCatレコードと同期するレコードを取得します。

パラ メー タ	説明
	<hr/> <p><b>Note</b></p> <p>公開モードとして選択するベースラインオプションはOCLC公開に用いるFTPサーバーにファイルを作成せず、またAlmaはベースライン公開が完了すると、公開モードを増分公開に自動設定します。このため、OCLCで確立した、継続的増分FTP構成を選択できます。</p> <hr/>
サブ ディ レク トリ	<p>S/FTP接続の作成時に指定されたパスのオプションのサブディレクトリ。たとえば、S/FTP接続の設定中に[サブディレクトリ]フィールドでAlmaを指定し、このフィールドにOCLCと入力すると、データはAlma/OCLCにエクスポートされます。</p>

2. プロファイル設定を保存します。
3. 移行ジョブが完了したら、スケジューリングパラメータを再設定して、OCLC WorldCatレコードを使用した、継続的な増分公開用にOCLC公開プロファイルを設定します。